

# 自殺対策に関するアンケートについて

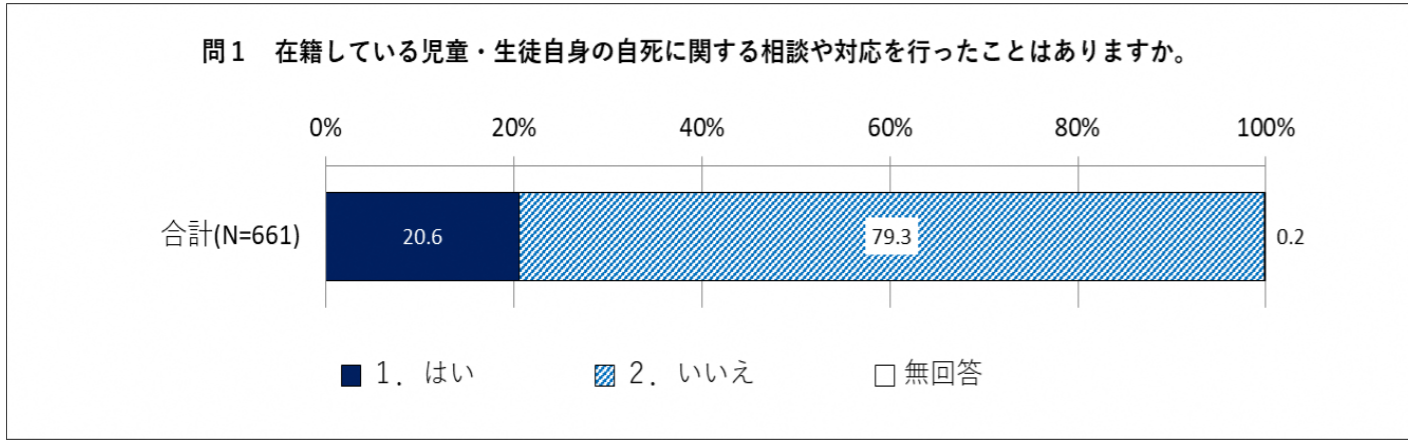
1. 対象・実施期間等 ※回答方法や勤務形態を考慮し、実施期間をそれぞれ設定

①枚方市立小中学校教員：9/12（火）～9/29（金）...WEB回答

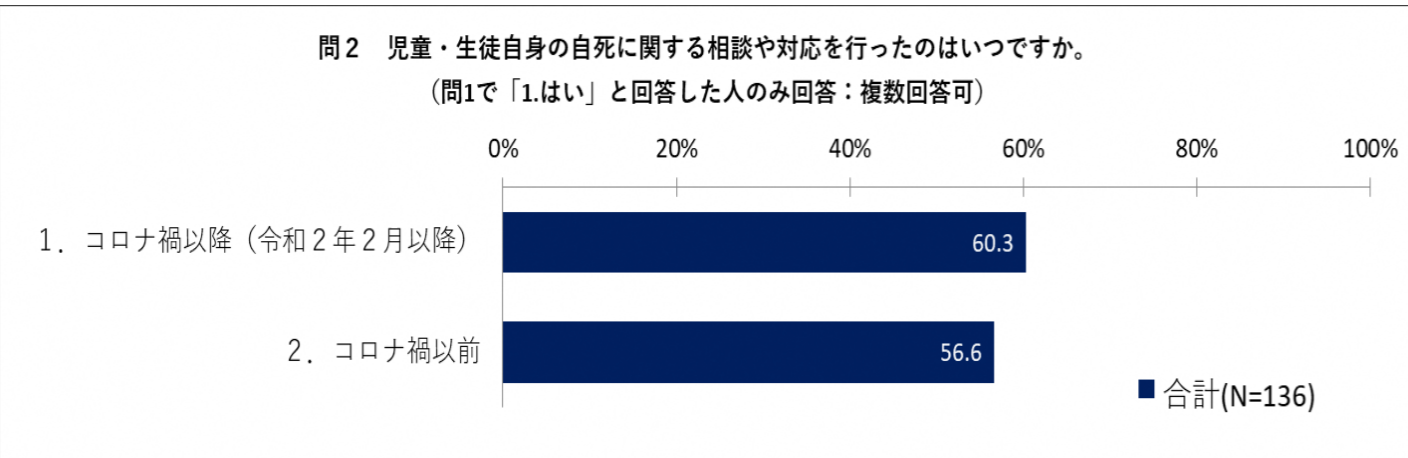
②枚方市立小中学校に配置されている心の教室相談員、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカー：9/12（火）～10/27（金）...調査票による回答

2. 総回答者数：661人

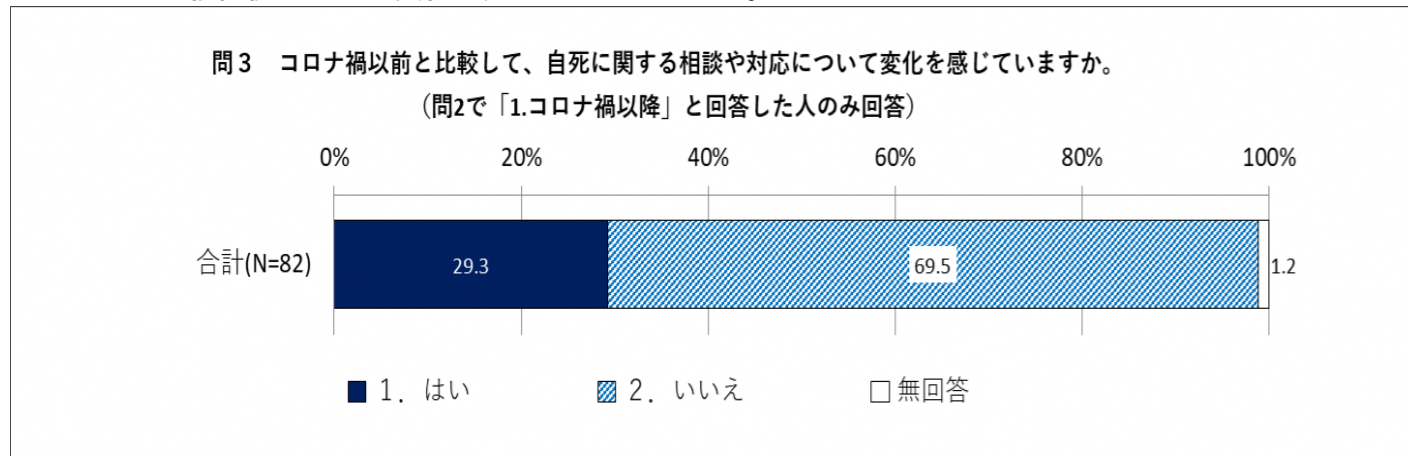
3. 結果：問1～問4（下記のとおり）



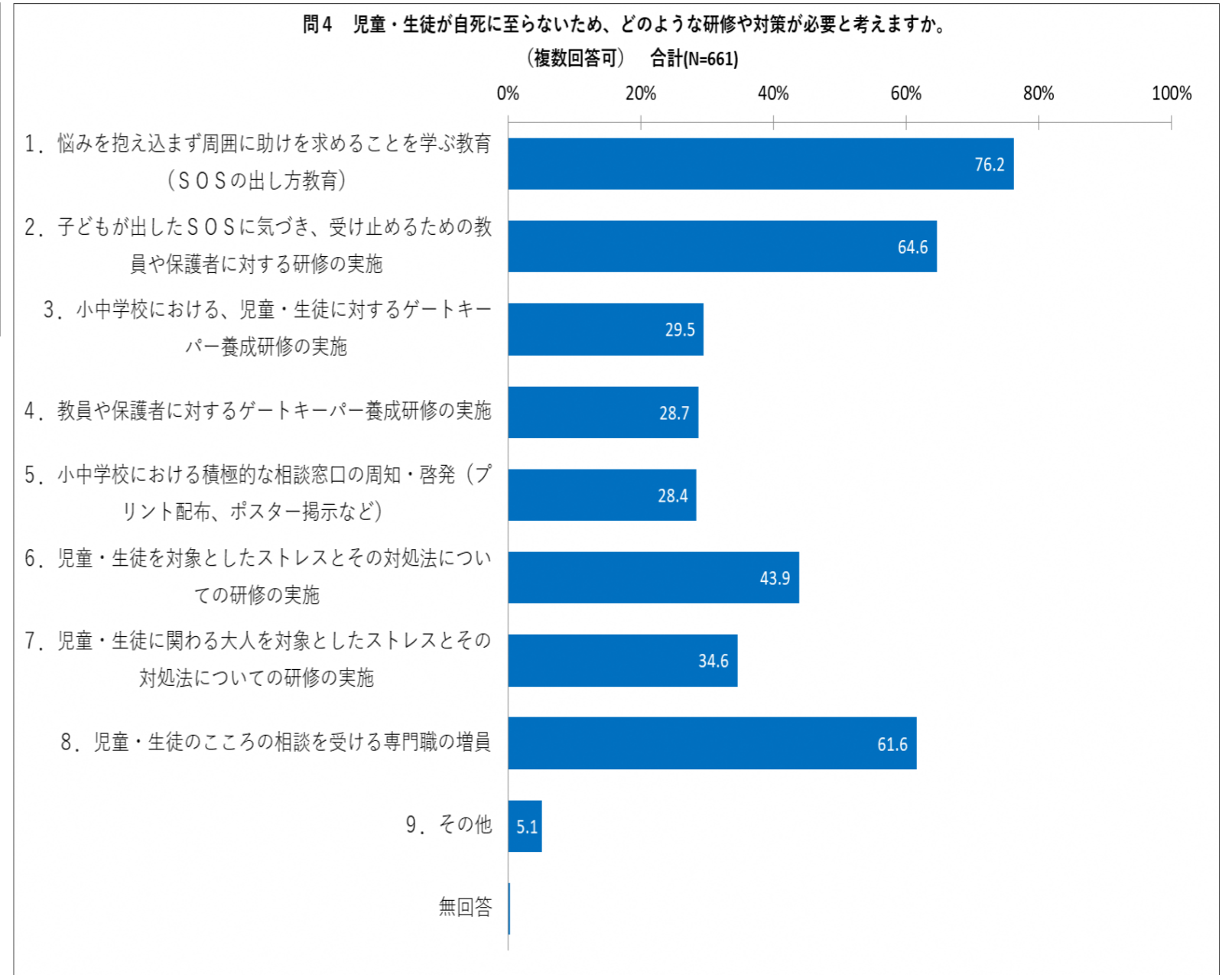
問1：約2割が在籍児童・生徒自身の自死に関する相談や対応を行っていました。



問2：問1において「相談や対応を行ったことがある」と答えた人に、対応時期について尋ねたところ、コロナ禍前後で大きな変化は見られませんでした。



問3：問2において「コロナ禍以降に相談や対応を行ったことがある」と答えた人に、自死に関する相談や対応の変化について尋ねたところ、3割近くの人が「変化を感じている」と回答しました。



問4：児童・生徒が自死に至らないために必要と考える研修や対策としては、回答が多い順に「悩みを抱え込まずに周囲に助けを求めることを学ぶ教育（sosの出し方教育）」、「子どもが出したsosに気づき、受け止めるための教員や保護者に対する研修の実施」、「児童・生徒のこころの相談を受ける専門職の増員」となりました。

ご協力ありがとうございました。

いただいた回答については、第2期自殺対策計画を推進するにあたっての参考とさせていただきます。